

# 大 会 宣 言

労働災害は、長期的には減少してきているが、岡山県内では依然として、平成二二年に一、八九三件もの休業四日以上災害が発生している。また、平成二三年については、同年七月現在の速報値で九八四件の休業四日以上災害が発生しており、前年同期に比べて七・九%増加している。

いかに厳しい経済情勢下でも、安全衛生活動は決しておろそかにされてはならない。

企業活動の基礎を支えるのは各企業で働く人々であることは言うまでもないことであり、また、その人々が健康で安心して働ける労働環境の構築は、労使の一致した目標であるはずである。

そして、その安全な労働環境を築くために極めて有効な方策は、リスクアセスメントの導入及び推進である。

リスクアセスメントは、職場における危険性・有害性を見つけ出し、危険度・有害度や遭遇する頻度を考慮してリスクを見積もり、リスク低減の優先度の高いものから順次改善していく取組であるから、これを継続的に進めることは、職場における危険の芽を見つけつついでいくことであり、先取り型の安全衛生管理と言えるものである。

我々は、本大会を契機に、

- 一、 リスクアセスメントの実施体制を整えること
- 一、 危険性・有害性を積極的に洗い出して特定すること
- 一、 適正にリスクを見積もること
- 一、 優先順位を付してリスク低減措置を講じていくこと

を確実に実行することを通じて、安全な職場を築くことを堅く誓うとともに、この取組により、企業の生産性の向上はもとより、働く方の能力向上や働きがいの充実を通じて、「日本の元気」を取り戻すための一助とならんことをここに誓う。

右宣言する。

平成二三年八月二三日

夏ゼロ運動二〇周年記念

リスクアセスメント推進決起大会